Advanced Electronic & Mechatronic Devices and Components Exhibition

TECHNO-FRONTIER 2014

第32回モータ技術展

第23回モーション・エンジニアリング展

第7回メカトロニクス制御技術展

「第32回モータ技術展」「第23回モーション・エンジニアリング展」「第7回メカトロニクス制御技術展」が23日から25日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される。これは電子・機構部品分野の大型専門展示会である「TECHNO-FRONTIER 2014(テクノフロンティア2014)」の一環で開かれる。主催は日本能率協会。いずれも各社の最新技術や新製品が展示される。開場時間は10時から17時まで。入場登録料は3000円(事前登録者と招待券持参者、学生は無料)。

電子・機構部品の専門展示会

最新技術が一堂に

テクノフロンティア2014は国内外から504社・団体が出展し、1037小間での開催となる。機器・装置メーカーの開発・設計者、生産技術者や経営者に向けて、各社から新製品や新技術に関する情報収集や商談の場を提供する。

モータ技術展

第32回モータ技術展はあらゆるアプリケーションに付随して「省エネ、高効率、高精度」化を促進する、モーターに関する最適ソリューションが一堂に集う専門技術展。民生用から産業用まで、小型・精密モーターから中・大型の各種モーター、制御技術、計測・解析技術、材料、素材などまで、モーターに関するあらゆる最新製品・技術、応用製品が紹介される。

モーターについては現在、自動車の電動化に伴う車載用モーターの需要増加に加えて、レアアース(希少金属)確保問題、産業用モーター・ドライバーの省エネ・高効率化の観点からも注目されており、関係者の期待は大きい。

またモーター業界では、2015年4月から変更になる省エネ基準(IE3)に対応した産業用高効率モーターの動向が注目されている。そこで今回モータ技術展の中に、集中展示コーナー「高効率/トップランナーモータコーナー」を設置して、要望に応える。同コーナーでは高効率モーターやインバーターなど周辺機器、ダイレクトドライブを実現する技術・ソリューションを展示する。

モーション・エンジニアリング展

第23回モーション・エンジニアリング展は、高精度や高効率、高機能な製品開発を支援する展示会。モーション・メカニズム、機械要素、アクチュエーター、モーション・コントロール、モーション・センサーなど、駆動・伝達・制御に関する最適ソリューションが一堂に集まる。産業機械や自動車、精密機器、電機をはじめとした、あらゆる業種のエンジニアに向けて製品や技術をアピールする場となっている。

メカトロニクス制御技術展

第7回メカトロニクス制御技術展は、電機・電子機器、自動車、輸送機器、産業機械などまで、あらゆる分野の制御技術や制御に関わるシステム・機器を一堂に集めて、メーカーとユーザーの間のビジネスマッチングの実現を目指す展示会。モータ技術展、モーション・エンジニアリング展と同時開催することにより、一貫したソリューションを要望している技術者向けの製品および技術情報の発信に最適な場になっている。

あす開幕

技術シンポジウム

会期中に会場内で行われる技術シンポジウムも、大きな見どころだ。

「モータ技術シンポジウム」では、全国から大学や公的・私的研究機関、企業の研究者・実務者が参加し、講演する。主要テーマはEV/PHVモーター、産業機械・工作機械用モーター、自動車補機モーター、モーター振動・騒音対策、モータードライブ、炭化ケイ素(SiC)パワーデバイスの最新技術動向、絶縁材料など。

このうち産業機械・工作機械用モーターのセッションでは、①サーボモーターの高性能化②PWMコンバータ・マトリクスコンバータと高調波対策③産業機械・工作機械のエネルギー管理技術―などが予定されている。

また「バッテリー技術シンポジウム」では企業関係者からの講演を中心に、定置用蓄電池の最新動向、バッテリー市場の行方、ポストリチウムイオン電池研究の最前線、潮流の変化が見えたxEVバッテリーシステムなどを主なテーマに掲げる。

セミナーには熱心な参加者が多い

定置用蓄電池の最新動向のセッションでは、①電力貯蔵用レドックスフロー電池②定置用大型リチウムイオン蓄電池システム③住宅用蓄電池システムの現状と展望について発表する。

25日まで東京ビッグサイト